

嘉麻市社協だより

このくらい  
植えていいの？

～親子で田植え体験～

# えがお

発行日 2010.6.1

No.52



発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 [info@kama.syakyo.com](mailto:info@kama.syakyo.com)



嘉麻市で今輝いている  
「人」を紹介します。

## 有馬秀光さん

枝坂在住(88歳)

# 炭鉱の歴史を知り、 命を大切にしてほしい……



237人もの尊い命が失われた三井山野炭鉱の坑内ガス爆発事故(1965年6月1日)から、すでに45年もの歳月が流れ、この事故についても、また、炭鉱そのものを知らない世代が時間の経過とともに増えてきています。

この事故があつた当時、保安係救護隊長を務めていた有馬秀光さん(枝坂)は、かつて大きな犠牲を払いながら繁栄をもたらした炭鉱の歴史を後世に語り継ぐために、市内の保育園や小・中学校を訪問して、語り部としての活動を行っています。「あの事故は、人生最大の出来事」と語る有馬さんに、この活動への思いを伺いました。

この活動をはじめたのは、10年前に稲築西小学校から、「命についての学習をしたいので、炭鉱のことや事故のことを話してほしい。」との依頼を受けたことがきっかけでした。語り継ぐことの是非については、自問自答していたようですが、炭鉱事故があつた当時、状況を把握する部署にいた自分にはできないことがあるのではないかと決断しました。

いざ、話をするとなると、「炭鉱」という言葉は知っていても、具体的なイメージを持っていない環境にある今の子どもたちに、当時の状況を伝えていくことの難しさを一番に

感じたそうです。そのため、重労働の堀削作業やトロツコが行き交う坑内の様子、また、悲しい事故の状況が少しでも伝わるようにと、坑内を描いた地図や救出作業に使つたマスクなどを見せながら、当時の状況や様々な思いを伝えるようにしました。

子どもたちは初めて見る道具に興味津々で、「地下の深いところに空気は届くのですか。」とか「救助にかかった時間はどれくらいですか。」との質問があり、さらにわかりやすく説明します。後に送られてきた感想文には、「炭鉱の仕事は、大変で危険だったことがわかりました。」「命

の大切さを感じました。」と書かれているなど、毎回伝わるものがあることを実感しています。

有馬さんは、年齢を重ねるごとに、語り継いでいけるかという不安が大きくなっていくそうです。命を懸けて挑んだ炭鉱マンの勇姿や思いが子どもたちの心のどこかに残ってくれることを願って、これからも活動を続けていきたいと考えています。「人の命、自分の命を大切にしないさい。」と話す有馬さんの言葉は、多くの子どもたちに届いています。



知り合おう!! 伝えよう!!

# みんなの活動、地域のホットニュース!!

## 健闘をたたえあい 来年の再会を誓う ～第48回福岡県身体障害者体育大会～



5月9日(日)、第48回福岡県身体障害者体育大会が開催され、総勢79名が参加しました。

13名の嘉麻市選手団は、博多の森陸上競技場で行われたトラック競技や走り高跳び、砲丸投げなどに挑みました。

競技場へ向かう車内では、パンフレットで対戦相手を確認し、「あー今日はメダルは無理ばい。」と早くもギブアップ宣言をする方がいたり、「メダルを獲れる、獲れんじやなくて、参加することとに意義があるんよ。」と励ます方がいるなど終始和やかでしたが、開会式に臨む頃になると、皆さんアスリートの顔へと変わっていました。

午前11時10分、競技が一齐にスタートすると、至るところで歓声や拍手が起こり、場内の熱気は一気に高まりました。

そのような中、毎年この大会に出場している河並清子さんは、昨年同様フライングディスクにエントリー。競技が始まる前は、「あまり練習する機会がなかったので、投げる感覚を覚えていくかどうか。」と不安を口にしていましたが、順番が来ると、その不安を微塵(みじん)も感じさせない表情

へと変わりました。風の強さや向きなどを考慮し、間合いをとって投げたディスクがゴールを通過すると、周囲からは拍手が起こります。今回は残念ながら、メダル獲得を逃した河並さんですが、競技終了後には清々(すがすが)しい笑顔で他の選手と健闘をたたえあっていました。

この日、嘉麻市の選手団は、立ち幅跳び、100mなどのトラック競技で金メダル5つ、銀メダル1つを獲得しました。しかし、この大会は結果も大切ですが、スポーツを楽しみながら、たくさんの方との出会いや交流を深めていくことに本来の意義があることを実感しました。

「来年もまたこの場所です」と、仲間との再会を誓い、競技場を後にする選手の皆さんの表情には、充実感が満ち溢れていました。



金メダルおめでとうございます

### 子どもたちが、 公園で楽しく、 安心して遊べるように



稲築地区に設置している遊具(15ヶ所33基)の状態を確認するため、各ブロックの福祉推進員の方とともに、4月中旬から5月中旬にかけて、点検を行いました。

遊具は丈夫に造られてはいますが、やはり時間の経過とともに、劣化はすすんでいきますので、今回の点検では、点検表に基づいて、体に触れる場所に鋭利なところはないか、基礎部分はしっかりしているかなどを丁寧に確認してきました。

今回、不具合の見つかった遊具については、子どもたちが安全に遊ぶことができるよう、修理等を行うこととしています。



## 越冬期だけではない 路上生活の厳しさ

5月14日(金)午後6時、市民の皆様からお寄せいただいた支援物資(タオル、石鹸、歯ブラシなど)を積み込んだ車は、ホームレス支援活動が行われている北九州市新勝山公園を目指して出発しました。

この活動は、NPO法人北九州ホームレス支援機構が「一人の路上死も出さない」を掲げて実施しているもので、越冬期(12月～2月)以外は、第2、第4金曜日に炊き出しのほか、医薬品や衣類の提供、医師による健康相談、巡回パトロールなどが行われています。

公園に到着した午後7時20分、スタッフやボランティアによってテントが設置されると、弁当を求めて並ぶ方々の長い列ができました。私たちはその一人ひとりに「タオルはいりませんか。」と声をかけ、手渡していきました。

同機構理事長の奥田知志さんが「体の調子が悪くなったり、襲撃されそうになったら、私たちに相談してください。皆さんは一人ではないんです。」と呼びかけた後、炊き出しが始まりました。弁当を受け取った方は「まだあったかいね。」とつぶやきながら、椅子に座り、さっそく食べ始めました。

常務理事の森松さんによると、増加傾向にあるホームレスの中には、軽度の知的障がいのある方もいるそうで、その多くは金銭の管理がうまくできない、仕事が長続きしない、他者とうまくコミュニケーションケーションがとれないことなどを理由として、結果的に路上生活となってしまう面があるといえます。

今回、ボランティアとして初めて参加した橋本陽子さんは、「若い方も高齢な方もいて、それぞれいろいろな状



炊き出し会場には、たくさんのボランティアの姿も

況があつて、路上での生活となつたんだろうと思います。これから夏を迎えると、暑さで眠れない日も続くでしょうし、健康面がとも気がかりです。」と感想を語ります。

本会では、7月23日(金)に行われる支援活動に参加することになっています。そのため、夏の戸外での生活に必要な物資(野球帽、蚊取り線香、男性用靴)と一緒に活動に参加するボランティアを募集していますので、ご協力、ご参加をお願いいたします。

なお、募集内容の詳細は、6ページに掲載しておりますので、ご覧ください。

## 公開研修会を開催します ご来場ください

### テーマ 生活破綻につながる多重債務問題を考える

景気の低迷や雇用環境が悪化する中、自己破産や家庭崩壊につながる多重債務は社会問題の一つとなっています。

平成22年6月からは、借り手を生活破綻から救うことをねらいとして改正貸金業法が完全施行されますが、審査の厳格化によって借りられない人が増える等の問題点も指摘されています。

そこで、今回の研修会は、多重債務の現状や法改正の効果と問題点等を学び、生活破綻に至らないための見識を深めていければと考えておりますので、ぜひご来場ください。

- ◇日 時 平成22年6月25日(金) 13時30分～15時30分
- ◇会 場 夢サイトかほ 中研修室
- ◇講 師 弁護士法人 奔流法律事務所 直方オフィス 弁護士 村山 崇氏
- ◇参加費 無料
- ◇申込み締切 6月21日(月)
- ◇申込み・問い合わせ 嘉麻市社会福祉協議会 0948-42-0751



## 寄ってこハウス情報

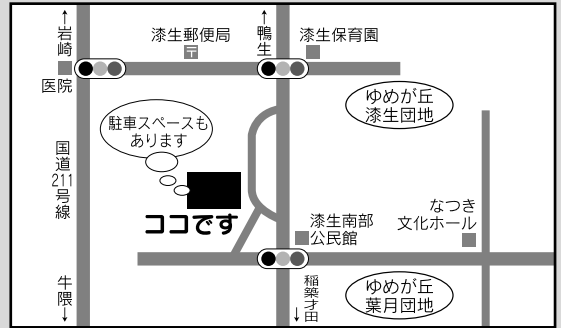
### これからの成長が楽しみ… ～寄ってこハウスにお立ち寄りください～

寄ってこハウスの畑では、キュウリやナス、トマト、ピーマン、スイカ等の苗付けが終わりました。

これから収穫までの間は、水遣りや雑草取り、追肥などの作業をしていくことになります。これら一連の作業を多くの方々と楽しく行って、夏には盛大に収穫祭をできればと思いますので、興味・関心のある方はぜひご参加ください。

また、野菜づくりは奥が深いので、ぜひ、野菜を上手に育てるコツをご存知の方にご指導いただきたいと思っています。

この寄ってこハウスは、誰でも気軽に立ち寄っていただける場所を目指していますので、野菜づくりへのご参加をお待ちしています。



## 網戸の張替えを学ぶ研修会 参加者募集!!

夏には、涼風を取り込んだり、また、虫除けのために網戸は欠かせないものとなりますが、破れたままになっているご家庭も多いようです。

このちょっとした修理も、高齢となったり、障がいがあると、自分の力だけで解決することが難しい状況となってしまうがちです。このような日常生活のちょっとした困りごとを解決していくのが地域支えあい事業です。

今回、夏本番に向けて要望の高まる網戸の張替えを学ぶ研修会を開催いたしますので、ご参加ください。また、研修終了後、この事業の協力会員として登録いただいて、困ったときはお互いさま、という関係を広げていくための一員として、活動いただければ幸いです。

- 《日 時》 平成22年7月16日(金)午後1時30分～午後4時
- 《会 場》 夢サイトかほ 工作室
- 《対 象》 網戸の張替えを学びたい方、また、地域支えあい事業に興味関心のある方
- 《定 員》 15名(申込み多数の場合は抽選となります)
- 《参加費》 無料
- 《指 導》 社団法人日本DIY協会 DIYアドバイザー(予定)
- 《申込み締切り》 6月30日(水)

《お問い合わせ先》 嘉麻市社会福祉協議会 電話0948-42-0751

子育てに役立つ情報満載

「こども目線♥かまこぴ♥」  
第2号発行

「こども目線♥かまこぴ♥」  
第1号発行後、たくさんの方から「手作りの感じがすごく温かい」「うちの施設に置いてほしい」などの反響があつたほか、「離乳食レシピの内容はもう少し詳しく載せたら良いのでは?」などのアドバイスをいただきました。

第2号は、子育てにやさしい施設を特集し、夏に向けて古処山キャンプ村の紹介をしています。その他、嘉穂子育て支援センター情報、連載企画の簡単レシピや出産体験なども掲載しています。嘉麻市の各図書館、子育て支援センター等に置いてありますので、ぜひご覧ください。



## かまボランティア・市民活動センターを ご利用ください

本会は、ボランティア活動や市民活動の裾野を広げ、かつ、様々な分野の活動者(グループ・団体)を支援することをつうじて、誰にとっても住みよいまちづくりをめざす、「かまボランティア・市民活動センター」を設置しています。センターと聞くと、何か大きな建物を想像してしまいがちですが、実際は、本会の中にその機能が備わっているというのが正直なところです。

では、その機能とは何かというと、一つ目は、ボランティア活動に関する相談受付、二つ目は、講座や研修会の開催、三つ目は、情報の収集と発信、四つ目は、紹介や情報提供をスムーズに行うための登録及びコーディネート、五つ目は、ネットワークづくり、六つ目は、ボランティア活動保険の受付窓口というものがあります。

また、将来的には、ボランティア活動者(グループ・団体)の活動拠点としての機能も備えていければと考えています。

今後、このセンターが、すでにボランティア活動や市民活動に携わっている方々にとっても、また、これから活動に参加してみたいと思われる方々にとっても、有用な場所となるようさらに努力してまいりますので、ぜひご利用ください。



## ボランティア情報

### ホームレスへの支援

#### 《支援活動に参加》

**活動日時** 平成22年7月23日(金)  
午後6時 稲築住民センター出発  
午後11時 帰着予定

**募集人数** 3名程度(18歳以上の方)

#### 《物資の提供》

**募集する物資**  
野球帽、蚊取り線香、男性用靴(25cm以上で、洗濯されたもの)

**募集期間** 平成22年6月1日(火)~7月21日(水)

### プールでのレクリエーションのサポート

障がいのある子どもたちが、プールでのレクリエーションを楽しむためのサポートをしていただける方を募集します。

**日時** 6月26日(土)、7月17日(土)、8月28日(土)  
10時~12時

※上記の日程の他、毎月第3もしくは第4土曜日に実施しています。

**内容** 障がいのある子どものプールでのレクリエーションのサポート

**場所** 山田サルビアパーク

**募集人数** 若干名

# 法人運営 INFORMATION

## 初盆世帯への供物配布 請負業者選定のための入札参加者募集!!

本会は、香典返しとしてご寄附をいただいた世帯が初盆をされるに際して、毎年心ばかりの供物をお届けしています。

この業務は、入札に参加し、落札した業者に請負っていただくこととなりますので、この度、その入札への参加を希望される業者を募集します。

### 1. 参加資格

指定した供物商品を用意し、かつ、市内、県内、県外に郵送する業務を担える業者(市内・市外を問わず)

### 2. 受付期間

平成22年6月7日(月)~6月25日(金)

受付時間は、午前8時30分~午後5時まで(但し、土・日曜日は除く)

### 3. 受付場所

嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

社会福祉法人嘉麻市社会福祉協議会 電話0948-42-0751

### 4. 申込み用紙等

嘉麻市社会福祉協議会に準備しています。

また、お申込みをいただいた時点で、入札実施要項及び仕様書等をお渡しします。



## ふるさとの風景 ポストカード

好評  
販売中

嘉麻市の昔懐かしい風景をはがきにしたポストカード「ふるさとの風景」(4枚1セット/200円)が大変好評です。

ポストカードは、社協事務局(稲築住民センター内)の他、カツホー馬古屏でもお買い求めできます。



4枚1セット  
**200円**

### カツホー馬古屏

嘉麻市牛隈882番地1 ☎0948(57)2222  
営業時間/午前8時30分~午後5時

## 7月の 総合相談

法律相談は予約が必要ですので、お早めにお申込みください。

### 法律相談

と き: 7月1日(木) 13:00~16:00  
と ころ: 山田ふれあいハウス

と き: 7月15日(木) 13:00~16:00  
と ころ: 稲築住民センター

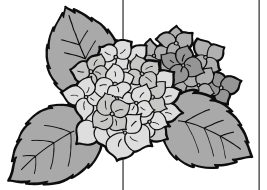
### 心配ごと相談

と き: 7月14日(水) 13:00~15:00  
と ころ: 稲築住民センター

と き: 7月28日(水) 13:00~15:00  
と ころ: 稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

嘉麻市の住民の皆様から、  
ご寄附をいただきました。  
心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

4月16日～5月15日受付分

〔下白井東〕

親族 田中 将悟様

故 田中 フミ子様

〔南ヶ丘団地〕

親族 石橋 裕次様

故 和田 カズ子様

〔飯田〕

親族 中嶋 きみ子様

故 中嶋 エス様

〔西川〕

親族 斉藤 和義様

故 戸田 キヌ子様

親族 野上 眞州男様

故 野上 摩知子様

〔熊ヶ畑第三〕

親族 伊藤 八重子様

故 伊藤 勝美様

〔木城〕

親族 林田 正敏様

故 林田 美知子様

〔口春〕

親族 中山 武夫様

故 中山 於新様

〔中山田上〕

親族 窪田 優子様

故 松岡 ユキ様

〔神幸〕

親族 佐野 健一様

故 佐野 文子様

〔日吉〕

親族 木村 豊次様

故 木村 ハスエ様

〔宮吉〕

親族 嶋田 ハマ子様

故 嶋田 登様

〔下牛隈〕

親族 山倉 栄子様

故 山倉 健成様

親族 田中 康一様

故 田中 トシエ様

〔嘉穂才田〕

親族 日高 明様

故 日高 榮子様

〔西野〕

親族 日高 寛司様

故 日高 満雄様

お詫びと訂正

第51号(5月1日発行)の  
香典返しの記事で、

〔西岩崎〕

親族 永光 三八子様

故 永光 伸一様

〔山野第二〕

親族 永光 三八子様

故 永光 伸一様

の誤りでした。  
お詫びして訂正いたします。

〔一般寄附〕

嘉穂の名水愛好者一同 様

〔子育てリユース〕

銭代坊 工藤 恵 様

山野第二 匿名 様

鴨生北町 花村 美恵 様

南ヶ丘団地 石川 啓子 様

石ヶ崎 渡邊 綾 様

嘉穂才田 児玉 清美 様

桑野 大里 清子 様

飯塚市 小野 聡子 様

〔アルミ缶〕

西岩崎 匿名 様

下白井東 匿名 様

石ヶ崎 渡邊 美千代様  
嘉穂っ子キッズ 様  
〔リングプル〕  
六四田 松田 敏雄 様  
神幸 村上 フクエ様  
熊ヶ畑第二 樋口 蓮 様  
熊ヶ畑第二 樋口 想 様  
熊ヶ畑第二 樋口 陽樹 様  
熊ヶ畑第三 堀 尋子 様  
石ヶ崎 國武 美千代様  
手話の会 山田支部 様  
三菱老人クラブ連合会 様  
かいだ美容室 様  
下山田小学校PTA 様  
嘉麻市消防団 嘉穂方面隊第1分団 様

〔古切手〕

石ヶ崎 渡邊 美千代様

下牛隈 山本 泰司 様

下山田小学校PTA 様

〔使用済みテレカ〕

石ヶ崎 渡邊 美千代様

中益 浦田 美香 様



あなたの会費が、社協の  
地域活動を支えています

会員として、次の方々にご  
加入いただきました。  
(敬称を省略させていただきます)  
4月16日～5月15日受付分

【個人会員】

〈東岩崎〉大嶋康夫

〈樋渡〉大谷圭子、大谷直美

〈下白井西〉匿名

〈西川〉古賀佐智子

〈三菱第二岡崎〉久美子

〈ゆうひが丘〉和田正

〈西馬見〉秋山明美

【団体会員】

〈嘉麻市〉子育てグループかま  
つぴ



## ふれあい千歳新聞

### 山田ふれあいハウスで くつろぎの時間を・・・

山田ふれあいハウスは、市民のみなさんの交流とくつろぎの場所として設置されています。館内では、読書や囲碁、将棋などを自由に楽しむことができます。

日頃、対局の相手を探している方、また、腕試しをしたいと思われる方にとっては、絶好の場所だと思います。

また、毎週火曜日の午前11時から午後2時まで、障がいのある方とボランティアで運営する「喫茶かたらい」が開店します。コーヒーや軽食を楽しみながら、くつろぎの時間を過ごすこともできますので、ぜひ一度、ご利用ください。



開館時間／午前9時から午後7時まで  
問い合わせ／山田ふれあいハウス  
電話0948-52-1847

### 嘉麻市社会福祉協議会指定 葬祭場紹介

## きど葬祭やまさ碓井斎場

嘉麻市飯田214-1  
☎(0948)62-4499



- 24時間年中無休です。
- 精一杯真心で御奉仕致します。
- いつでもどこでもお伺い致します。
- とっもお得な「きど葬祭やまさ倶楽部」会員募集中

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、きど葬祭やまさ碓井斎場を含め、市内に8カ所あります。

ひさつね会館	☎52-0758
いすや会館	☎57-4444
セレモニーホールおおつか	☎52-1212
かほ葬祭 あじさい会館	☎62-5566
善光会館 稲築会場	☎83-5000
おかむら葬祭 岡村会館	☎42-4420
飛鳥会館 南斎場	☎42-4241

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝え下さい。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。

## 知っておきたい

### 葬儀マナー・基礎知識 No.37

今回ご回答頂くのは・・・

きど葬祭やまさ碓井斎場 すえなが たいじ 末永太二さん



**Q** 遺影に使う写真はどのように選べば良いですか？

**A** 大きく引き伸ばすため、できる限り被写体がハッキリしていて、やや微笑んでいる表情が良いと思われれます。また、写真の素材は光沢紙で現像された物の方がきれいに仕上がります。

## ふるさとの大自然に感謝

私は、六月が誕生日。「あんたが生まれた日はね、麦刈りの真っ最中で、たいそう暑い日だったばい。」と、いつも言われていました。今は、昔のように、麦は作らなくなったそうですが、そろそろ田に水がひかれ、田植えの準備が始められているでしょう。



千葉県松戸市在住  
城 昭代さん(73歳)  
漆生出身

昭和三十三年、成人として初めて勤めた宮野小学校まで、漆生から十キロメートルの道のりを、自転車で通いました。国道211号線を行きは登りで五十分、帰りは四十分、四季を織り成す田園を眺めながらペダルをこいだ二年間でした。中でも、初夏のこの季節がいちばん好きでした。分校があった山瀬川地区から、桑野、宮吉、大隈、牛隈そして漆生へと水田が次々と早苗の若緑に染められていく風景が今でも忘れられません。馬見、古処、屏の三山から湧き出した水が、嘉穂盆地の広大な田園を潤してくれる、その大自然の偉大さに感謝すると共に、その地で生まれ育った事を、一生の誇りに思います。

漆生には、農業一筋で私達六人の娘を育ててくれた父が健在で、六月下旬には、百歳を迎えます。近くに住む娘達家族や、孫、曾孫の手厚い介護と、地域の方々の援助のお陰だと心から感謝しています。

また春には筍、夏には味噌、秋には栗や柿、冬には黒豆や餅米等々、ふるさとの味が送られてき、一年中生まれ故郷を忘れる事なく過ごせる有難さを感じております。

私は、今年七十四歳、ふるさとを離れて五十年間が経ちました。千葉県の小学校教員であった三十年間は、あわただしい毎日でしたが、今では、夫と二人で狭い家庭菜園で野菜や花等を育て、趣味を楽しみ、地域の行事に参加しながら身体を鍛え、いつでもふるさとに里帰り出来るよう頑張っております。

自然豊かなそんな嘉麻市の、ますますのご発展を願うと共に、田園を吹き抜ける柔らかな緑の風と人情に触れられる六月の里帰りを思い、今から胸躍らせております。

## 平成22年度も市民のみなさんと共に 福祉のまちづくりを推進していくために

### ～年度も新たに社協会員を募集します～

嘉麻市社会福祉協議会は、市民のみなさんと共に福祉のまちづくりを推進していくため、毎年度会員の募集を行っています。

本会の活動に賛同して納めていただいた会員会費は、地域福祉充実のための活動や、新たな福祉課題に対応するための先駆的事業等の財源として活用させていただきます。ぜひ、ご理解いただきまして、平成22年度も福祉のまちづくりに会員としてご参加ください。



#### ■会費の種別と金額

一般会員 1口 1,000円/年額      法人・団体会員 1口 3,000円/年額

お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751



当時の様子

稲築町制40周年記念公園には、三井山野鉱業学校の練習坑道が残されています。

この坑道は、同校の学生たちが採炭実習を兼ねて、手造りで建設したのですが、昭和36年の閉校後は、三井山野炭鉱の救護隊による災害救助訓練の場として使われていました。その訓練は、10kgほどある救命器具を背負い、命綱を付けて、5人一組でこの坑道に入り、1時間以内に救出活動を行って戻ってくるという厳しいものでしたが、このような訓練の積み重ねによって、事故発生時、救護隊は大きな力を発揮しました。

この練習坑道の中には、石炭を運んでいたトロッコが置いたままになっており、当時の様子を伝える貴重な遺産となっています。



現在の様子

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。  
まずは、嘉麻市社会福祉協議会(TEL 0948-42-0751)までご連絡ください。

